

# 大阪 IR カジノ視察

日本共産党横浜市議団 2019年12月28日

2019年12月24日(火)、日本共産党横浜市議団(9人)は、IRカジノで先行する大阪府・市を視察し、党大阪市議団同席のもと、担当者にヒアリングを行いました。

大阪府・市は、大阪市此花区にある人工島「夢洲(ゆめしま)」にIRカジノを誘致をすべく、府市合同で「IR推進局」をつくり、合わせて43人(府16人、市27人)の体制を組んでいます。

## 【誘致推進関連の予算】

誘致推進予算として、2019年度、4億7199万5千円を計上。

## 【大阪のIRカジノの基本構想案(2019年12月24日発表)】

- ・IR全体面積：約49ヘクタール(49万平方メートル)

- ・投資規模：9300億円

- ・施設規模：総延床面積100万平方メートル

→カジノ施設面積上限は、総延床面積の3%なので、3万平方メートル、横浜スタジアムより大きなカジノ施設ということが明らかに。

- ・年間来場者数：1500万人/年

- ・延利用者数：2480万人/年  
内、ゲーミング(カジノ)施設：590万人/年



人工島「夢洲」



ヒアリングの様子

- ・年間売り上げ：4800 億円/年  
内、ゲーミング（カジノ）：3800 億円/年

→カジノ売り上げが IR 売り上げ全体の 8 割を占める

### 【収入見込み】

700 億円/年

納付金収入：570 億円

入場料収入：130 億円

（それぞれ府市で折半）

他には、法人住民税・法人事業税・固定資産税などで 150 億円/年。（府 70 億円、市 80 億円）

### 【整備関連費（自治体負担）】

土地造成費用：15 億円

地下鉄の整備：540 億円

道路の整備：115 億円

上下水道の整備：132 億円

計 802 億円

その内、

カジノ事業者：202 億円

鉄道事業者：210 億円

計 412 億円を各事業者に負担を求める。

### 【事業者の費用負担】

- ・ IR 事業の費用のすべて
- ・ 市有地の賃料
- ・ インフラ整備費用の一部負担 (202 億円)
- ・ 選定等に要した費用
- ・ 環境アセスメントに係る現況調査費用



説明する当局



夢洲の現地視察

### 【事業期間】 35 年間

・ 事業継続期間満了にあたって、事業者は延長を申し出ることができ、事業継続を前提に協議する

・ 5 年ごとに事業継続の判断をする。IR 事業評価委員会を設置し、継続判断をあらかじめ諮問する。

・ 行政側の判断の変更（継続判断基準外）で、認定の更新の申請を行わない場合等は、事業者に損害補償をする。

※継続判断基準外には、首長選挙等で、IR カジノ反対の首長が誕生し、事業取りやめなども含まれる。

### 【大阪独自のギャンブル依存症対策】

・ 「24 時間 365 日利用可能な相談体制の整備」を IR 事業者に求める。

・本人の申告により、カジノの掛け金額、滞在時間の上限を設定できる仕組みの構築など

### 【治安・地域風俗環境対策】

・夢洲における警察署の設置、民間警備員の配置や防犯カメラの設置など

### 【スケジュール】

2019年12月 募集要項等の公表  
2020年4月頃 提案書類の提出期限  
6月頃 事業予定者の選定  
7月～10月頃 区域整備計画の作成  
及び公聴会等の実施  
11月～12月頃 府議会・市会の同意  
2021年1月～ 区域整備計画の認定  
の申請・認定※1



党大阪市議団との懇談

2021年秋頃 実施協定の締結・設備運営事業の開始・土地引き渡し・工事着工※2

※1 国のスケジュールは想定

※2 時期は事業者の提案による

## ヒアリングで明らかになったこと

Q：党市議団 A：当局

Q：カジノの日本人客、外国人客の割合は？

A：日本人75%、外国人客25%を想定している。

日本人440万人

外国人150万人

※日本人からカジノ収入見込みは1800億円。一人当たり3万6000円となる。

外国人から2200億円、一人あたり14万6000円となる

Q：インバウンドのターゲット（外国人客）は中国人を想定しているのか？

A：国は限定していない。

Q：カジノの社会的マイナス面の算定は？

A：個々の事情が異なるため、算出は難しい。

Q：市民理解はどう進めるのか？

A：現在、依存症などをテーマにしたセミナーを8回実施、市の広報などにも掲載している。セミナー参加者の9割が「深まった」との感想が寄せ

られており、市民に情報が広がっていると思う。

Q：継続判断基準とは？

A：事業者の債務不履行があったとき、これから事業者と結ぶ実施協定に書いてあることに重大な義務違反があったとき、国からのカジノ免許が取り消される、事業者が事業継続できなくなったなどが継続判断基準になる。5年ごとに IR 事業評価委員会でチェックする。

Q：継続判断基準以外で、事業をやめる場合の損害賠償金の算定方法は？

A：事業規模などで決まると思う。現段階では示せない。実施協定書に決めていく。

Q：基本構想では、MICE など「箱もの」は具体的な事業内容が示されているが、人を寄せるエンターテイメント関連は、抽象的な内容になっている。なぜか？

A：行政では、エンターテイメント分野は、経験などに限界がある。今後、事業者からの提案を受ける。

Q：夢洲の整備に投資してきた費用は回収できるのか。計画はあるのか？

A：土地造成に関しては、事業者から賃料も入ってくるので、そういうことも含めて全体的にはバランスが取れるものになっている。明確に20年、30年かけてペイできるなどにはなっていない。実施期間中は資金ショ

ートしないようよう試算をしている。

Q：事業者選定委員会については、議会の議決を得られたと聞いたが、いつごろか？

A：府・市ともに2019年2・3月議会

Q：事業者選定委員会は、公開か？

A：非公開となっている

Q：区域整備実施方針（案）を作成する上で、事業者からどんな提案があったのか？

A：2019年4月から、事業者から様々な提案をもらって、構想案をまとめた。事業者からの提案内容は、競争に関わるものなので公開できない。

Q：事業者との契約はどのタイミングで行うのか。事業者選定後に国に整備計画の申請が通らなかった場合はどうするのか？

A：事業者を選定した後に、基本協定書を締結する。これが契約行為にあたると思っている。基本協定書では、事業者とともに国の申請がおろすよう力をあわせようなどの基本的にことなので、どこまで契約に書くのかはまだ分からない。国の認定がおりてから実施協定を結ぶ。

#### 【資料】

大阪 IR 基本構想（概要版）

大阪・夢洲地区特定複合観光施設区域整備 実施方針（案）

# 大阪 I R 基本構想【概要版】

## 懸念事項と最小化への取組み

### 世界の先進事例を進化させた総合的な懸念事項対策

#### ◆ 基本的な考え方

- ・ギャンブル等依存症の抑制を図るとともに、善良な治安・地域風俗環境を保持するため、必要の対策を講じ、懸念事項を最小化
- ・懸念事項の最小化には、国の法令等による規制やIR事業者に課すべき義務を基本としつつ、地域においても、国・自治体・事業者の適切な役割分担のもと緊密な連携を図りながら、海外の先進事例に学び、それをさらに進化させた万全の対策を実行

#### ◆ ギャンブル等依存症対策

#### ◆ 基本的な考え方

- ・依存症対策のトータルプランをめざし、発症・進行・再発の各段階に応じた、防止・回復のための対策について、世界の先進事例に加え、大阪独自の対策をミックスした総合的な取組み（大阪モデル）を構築
- ・国のギャンブル等依存症対策推進基本計画を踏まえ作成する推進計画及びIR整備法の規定により作成する区域整備計画に基づき、有効な対策を着実に実施

#### <想定される取組み>

#### ◆ 依存症問題の総合的な相談支援機能の強化

- ・責任あるゲーミングの観点からの公民連携パートナーシップ体制の構築のため、IR事業者も参画する協議体を設置
- ・依存症研究の先進地をめざす大阪・関西の学術機関等で構成するネットワークを構築
- ・ICT-AI技術を活用した先進的な依存症対策研究の推進など

#### ◆ ICT技術を活用した、行動追跡による注意喚起や警告など、依存防止措置の実施

- ・本人の申告により、カジノでの賭け金額、滞在時間の上限を設定できる仕組みの構築
- ・24時間365日利用可能な相談体制の整備
- ・リスクの告知や健全なギャンブル行動を促す等のサービス提供など

## 治安・地域風俗環境対策

#### ◆ 基本的な考え方

- ・IR事業者、警察、自治体は、相互に緊密な連携を図りつつ、各々がその役割を果たすことにより、良好な治安の確保及び善良な地域風俗環境を保持するための取組みを実施
- ・府市においては、警察官の増員をはじめ、夢洲における警察官の配置など、警察力を強化
- ・さらにIR事業者において、自主的かつ万全の防犯、警備体制を構築

#### <想定される取組み>

- ▶ マネーローニング対策
- ▶ 暴力団等の事業介入を排除
- ▶ 暴力団員等の入場規制の徹底

- ▶ 情報収集、警戒警備など、各種国際テロ対策の推進

- ▶ 巡回の実施
- ▶ 防犯環境に係る対策の推進
- ▶ 民間警備員の配置や防犯カメラの設置

- ▶ 夢洲における警察官の配置など、警察力の強化
- ▶ 通訳体制等、外国人対応の強化
- ▶ 不法滞在外国人等に対する取締りの推進
- ▶ カジノの入場規制など、青少年対策の徹底
- ▶ 交通安全施設、道路交通環境の整備
- ▶ 適正な交通規制の実施

## IR立地による効果

### ◆ 観光振興・地域経済振興・公益還元

- ▶ 世界最高水準の成長型 I R の立地
- ▶ ビジネス客やファミリー層の来訪者の増加、訪日外国人の増加
- ▶ 国際会議や大規模展示会開催の増加、1人当たりの観光消費額の増加

経済波及効果（建設時）	1兆2,400億円	経済波及効果（運営）	7,600億円/年
雇用創出効果（建設時）	7.5万人	雇用創出効果（運営）	8.8万人/年

※近畿圏の経済波及効果

- ▶ 新たな需要の増加による経済波及効果、雇用創出効果
- ▶ 様々な産業への波及効果
- ▶ 都市の魅力と国際競争力の向上

⇒ 開業初年度までに之芥川（建設時+運営）の経済波及効果、以降、毎年7,600億円（運営）の経済波及効果

### ◆ 地域の振興・発展

- ・ペイユリア開発の活性化など新たな賑わいの創出
- ・雇用機会の増大や質の高い仕事の創出等による雇用の拡大
- ・ビジネスチャンスの拡大や地元企業を中心とした大きな波及効果の創出等による地域経済の振興
- ・地域振興などに向けた I R 事業者による地域への貢献

### ◆ 関西・西日本をはじめ、日本各地への波及効果

- ・大阪府域はもとより、関西・西日本をはじめ、日本各地への波及効果の波及
- ・多様な交通アクセスの確保等による充実した交通ネットワークの形成

### ◆ 納付金・入場料等の活用

- ▶ 住民福祉の増進、持続的な成長に向けて広く活用（活用事例）
  - ・子育て、教育、福祉、観光振興、文化芸術、スポーツの振興、懸念事項対策、地域経済振興 など
- 【府市における収入見込み（試算）】



⇒ 700億円/年  
55億円/年（収入）：570億円/年  
入場料収入：130億円/年  
※別途、税収 150億円/年

## 地域の合意形成に向けた理解促進

### ◆ 基本的な考え方

- ・対象の明確化：府民、市民全体、地元企業、次代の担い手たる大学生など一層性の興味、関心に応じた適切な情報発信
- ・ステージに応じた説明：① I R の基本的な事項 → ② 事業者公募、選定や区域整備計画作成に向けた内容 → ③ 区域整備計画への地域の合意形成に向けた内容
- ・大阪府・大阪市の考える I R についての正しい情報発信に努め、理解促進を図る

#### <具体的な取組み>

- ・府民、市民全体への情報発信（セミナー、講演会等）
- ・大学生、若い世代、女性、地元企業等を対象とした情報発信
- ・広報ツールの活用、公聴会等の開催



#### <合意形成に向けたプロセス>



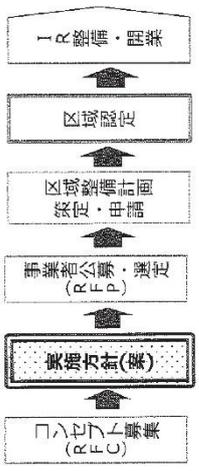
## スケジュール



※1 国のスケジュールは想定 ※2 時期は事業者の提案による

# 大阪・夢洲地区特定複合観光施設区域整備 実施方針（案）【概要版】

## 1. IR所蔵者のプロセス

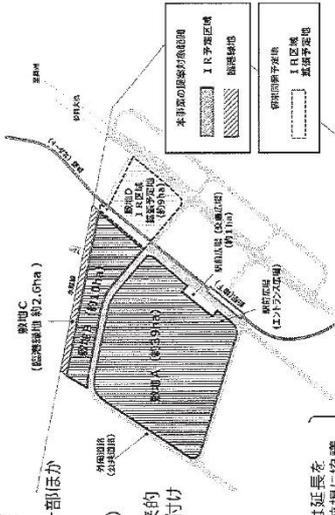


## 2. IR区域整備の意義

- 持続的な経済成長のエンジンとなる世界最高水準の成長型 I R を実現することで、大阪経済の更なる成長をめざす。
- I R は、長期間にわたる安定的・継続的な運営の確保などが極めて重要な前提条件であり、その実現に向けて大阪府・市一体で取組みを進めていく。

## 3. IR区域の位置と概要

大阪市此花区夢洲中1丁目の一部ほか  
 約49ha  
 (敷地A:約39ha 敷地B:約10ha)  
 敷地D(約9ha)については、将来的な I R 区域の拡張予定地と位置付け



## 4. 事業期間の延長と更新

35年間  
 事業期間満了にあたって、事業者は延長を申し出ることができ、事業の継続を前提に協議

## 5. 主たる事業内容

- 事業者の費用負担
- I R 事業の費用のすべて
  - インフラ整備に要する費用の一部(20億5千万円)
  - 選定等に要した費用(審査料全体1億3,500万円から応募者当たり91,000万円の審査料を控除した額)
  - 環境アセスメントに係る現況調査費用

## 6. 事業内容の概要

- MICE施設 [国際会議場 最大国際会議室 6,000人以上 / 展示等施設 展示面積 10万㎡以上]
- 魅力増進施設 ・ 送客施設 ・ 宿泊施設 3,000室以上

## 7. 区域整備計画の策定と申請

- 府と事業者は、区域整備計画を共同して作成し、市の同意、府議会の議決等を経て、認定を申請
- 長期間にわたる安定的・継続的な I R の運営確保のため、継続判断基準を策定し、一定期間毎に蓄的な実施を確認
- I R 事業評価委員会を設置し、継続判断に際しては、あらかじめ諮問
- 継続判断基準以外の事由により認定の更新の申請を行わない場合は、損害を事業者に対して補償

## 8. 事業者の責任の範囲確保

- 円滑かつ確実な事業実施の確保と長期間の安定的・継続的な事業の継続を図るため、ガバナンス機能の確保
- I R 事業評価委員会の設置
- 事業者によるセルフモニタリング
- 府・市・事業者による会議体の設置
- 府・市によるモニタリング
- 金融機関との連携 など

## 9. スケジュール

- I R 施設の開業については、2025年の大阪・関西万博前の I R 開業をめざしつつ、世界最高水準の I R 及び早期開業による速やかな事業効果の実現が実現できるよう公民連携して取り組む。
- なお、施設計画に応じた建設期間の設定、並びに大阪・関西万博及びインフラ工事等も含めた工事条件が必ずしも明確でないこと等に鑑み、具体的な条件等の詳細は、募集要項等において示す。

スケジュール(予定)	内容
令和元年(2019年)	12月 募集要項等の公表
令和2年(2020年)	4月頃 提案書類の提出期限
	6月頃 事業者選定の選定
	7月～10月頃 区域整備計画の作成及びパブリックヒアリング等の実施
令和3年(2021年)	11月～12月頃 府議会・市会の同意
	1月～ 区域整備計画の認定の申請・認定(国) ※1
秋頃 実施協定の締結・設置運営事業の開始 土地引渡し・工事着工 ※2	

※1 国のスケジュールは想定  
 ※2 時期は事業者の提案による

## 大阪の現状と取組みの方向性

### 大阪のさらなる成長のために

- ◆現状・課題
  - 人口減少・高齢化社会が進み、需要・労働力の減少が懸念
- ◆取組みの方向性
  - 今後も世界の観光需要が拡大するなか、インバウンドを確実に経済成長に結び込むため、滞在型観光の推進や世界水準のMICE施設整備が必要

### 大阪・関西のポテンシャルを最大限活用

歴史的・文化的特性	大阪や関西の豊富な観光資源が集積
経済的特性	大阪、関西の大きな人口・経済規模、幅広い分野の産業クラスターの集積
地理的・立地的特性	関西の中心に立地、充実した交通インフラを活用したハブ機能

※ポテンシャルの高い夢洲へのIR立地発出発案として、ベイエリアを活性化

今後市場拡大など将来性が見込まれる成長産業への注力

大きなニーズと将来性があり、経済効果の大きい観光分野を基幹産業へ

### 大阪にIRを核とした国際観光拠点を形成

民間の知恵と工夫を最大限に活かす民設民営のプロジェクトとしてのIR

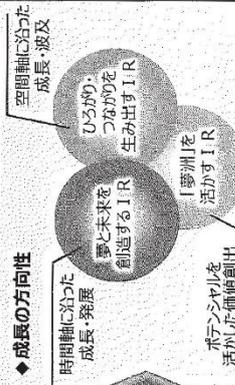
## 大阪 I R のめざす姿

### 基本コンセプト

大阪・関西の持続的な経済成長のエンジンとなる

### 世界最高水準の成長型 I R

- ◆世界中から「モノ」投資を呼び込み、経済成長のエンジンとするため、ビジネス系、ファミリー層など世界の幅広い層をターゲットとする「世界最高水準」の I R
- ◆50年・100年先を見据え、初期投資だけでなく、常に時代の最先端となる施設・機能とサービスで変化を遂げる「成長型」の I R



### 大阪 I R の想定事業モデル

(数値は概算)

- ◆敷地面積：約49ha
- ◆投資規模：9,300億円
- ◆施設規模：総延床面積 100万㎡
- ◆年間来場者数：1,500万人/年  
 [ 延利用者数：2,480万人/年 うちエンターテインメント施設：1,890万人/年  
 ゲーム施設：590万人/年 ]
- ◆年間売上：4,800億円/年 [ うちエンターテインメント施設：1,000億円/年  
 ゲーム施設(GGR)：3,800億円/年 ]

### <大阪・関西の持続的な成長に向けて>

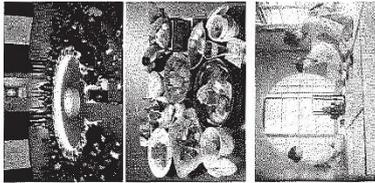
- ・行政・地域・IR事業者による協議体の設置
- ・施設・サービスの魅力向上に向けた継続的な投資による好循環の実現

## 大阪 I R のめざす姿

### 大阪 I R が有すべき機能・施設

#### ①世界水準のオールインワンMICE拠点的形成<国際会議場施設及び展示等施設>

- ◆世界水準の競争力を備えたオールインワンMICE拠点的・MICE誘致に必要な宿泊施設、エンターテインメント・商業施設等を一体的に整備
- ◆日本最大の複合MICE施設の整備  
 [規模] 国際会議場：最大会議室収容人数6千人以上、1万2千人規模の会議に対応  
 展示施設：10万㎡以上の展示面積
- ◆オール大阪でのMICE推進・誘致体制の強化



#### ②魅力の創造・発信拠点的形成 <魅力増進施設>

- ◆大阪・関西・日本が誇る魅力を効果的な手法で発信  
 ・伝統・文化、芸術等のコンテンツに気配りに触れられる施設を整備し、コンテンツに適した手法で発信
- ◆大阪 I R 発、大阪・関西・日本のコンテンツの発展・創造

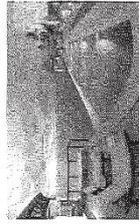
#### ③日本観光のゲートウェイの形成 <送客施設>

- ◆大阪・関西・西日本をはじめ、日本各地との連携による観光客の送り出し
- ◆大阪・関西の強みを活かした、大阪 I R 発のニューリズムの創出  
 ・多様で心身に健康な生き方を提案するウェルネスリズムをはじめ、スポーツ、フードなどのニューリズムを創出



#### ④利用者需要の高度化・多様化に対応した宿泊施設の整備 <宿泊施設>

- ◆世界水準の規模と質を有する宿泊施設の整備 【規模】 客室数：3千室以上
- ◆ビジネス客やファミリー層、富裕層など多様な宿泊ニーズに対応できる施設・サービスの提供



#### ⑤オンラインのエンターテインメント拠点、リゾート空間の創出 <来訪及び滞在寄与施設>

- ◆夢洲でしか体験できないエンターテインメントの提供  
 ・あらゆる人が楽しめる、大阪 I R の象徴となるような世界を見ないエンターテインメントを提供
- ◆世界中の人が訪れたいくなる非日常を感じられる都市型のリゾート空間、長期滞在を楽しめる上質な施設・サービスの提供
- ◆大阪の新たなランドマークとなるインパクトのある空間の形成  
 ・斬新なデザインの建築物や海に囲まれた広大な土地を活かしたゆとりある空間の形成など



### 大阪 I R の魅力を高める取組み

- ◆最先端技術の活用により、快適で利便性の高い空間、質の高いサービスを提供する  
 スマートなまちづくりの実現  
 ・「未来社会の実験場」として最先端技術の実践・実証、体験の場を創出
- ◆次世代を担うグローバル人材の育成



### 安心して滞在できるまちの実現

- ◆夢洲における消防署の設置をはじめ、IR事業者や関係機関と連携しながらソフト対策やハード対策に取り組み、来訪者が安心して滞在できるまちを実現

